

一般公開学習会

いのちに関わる TPP 生活はどう変わる？

TPP（環太平洋経済連携協定）は、私たちの生活の安心や安全よりも多国籍企業の儲けを優先させるものであることが明らかとなってきました。どんなに国民のために良い制度であってもそれが、企業利益を阻害するものであれば訴えることができ、ねじ曲げられてしまいます。TPPを推進する新自由主義はどういう社会にしていこうとしているのか。行き過ぎた経済のグローバル化、自由化によって引き起こされている環境破壊や格差、貧困、そしてそれらを生み出してきた非民主的なルールの決め方など、様々な問題について情報発信を続けているNPO法人AMネットの神田さんに明らかにしてもらいます。

また、麻生副総理は昨年、米国のシンクタンクで「水道は全て民営化します」と、TPPに先立って水まで多国籍企業に売り渡す発言をしています。水や食糧を多国籍企業に委ねてこの国は大丈夫なのか、も含めて解説します。

水道まで
売り渡すって
どういうこと?!

講師

神田 浩史氏（NPO法人AMネット理事）

日時

5月21日（水）

18時30分～20時30分

会場

コープイン京都 201号室

（京都市中京区柳馬場蛸薬師上ル）

阪急烏丸駅、地下鉄四条駅（13番出口から）徒歩5分



参加無料

主催 TPP参加反対京都ネットワーク

連絡先 京都府保険医協会 京都市中京区烏丸通蛸薬師上ル 第41長栄カーニープレイス四條烏丸6階

TEL 075-212-8877 FAX : 075-212-0707 e-mail info@hokeni.jp